

イワタイゲキ

Euphorbia jolkinii Boiss.

トウダイグサ科

石川県カテゴリー

絶滅危惧 I 類

国カテゴリー

該当なし

選定理由

県内における生育地は極めて限られ、個体数も少ない。(現況:RO)

形態

多年生草本。茎は太くて直立し、高さ30~80cm。茎葉は多数密に互生し、茎頂に数葉を輪生する。その腋から散形枝を5本以上開出し、杯状花序をつける。葉は厚くて、側脈がよく見えず、葉のへりを透かすと白いふちどりがあがる。果実の表面には、先の丸いこぶ状突起が密生する。

国内分布

本州(千葉県以西)、四国、九州、琉球。

県内分布

中能登区。

生態など

花期は4~6月。地下茎の発達には特に良好で、岩の隙間に深く伸びている。トウダイグサやタカトウダイはアリによって種子が運ばれるアリ散布植物であるのに対し、イワタイゲキは海流によって分布を広げる海流散布植物と考えられている。乳液は皮膚をかぶれさせる。

生育環境

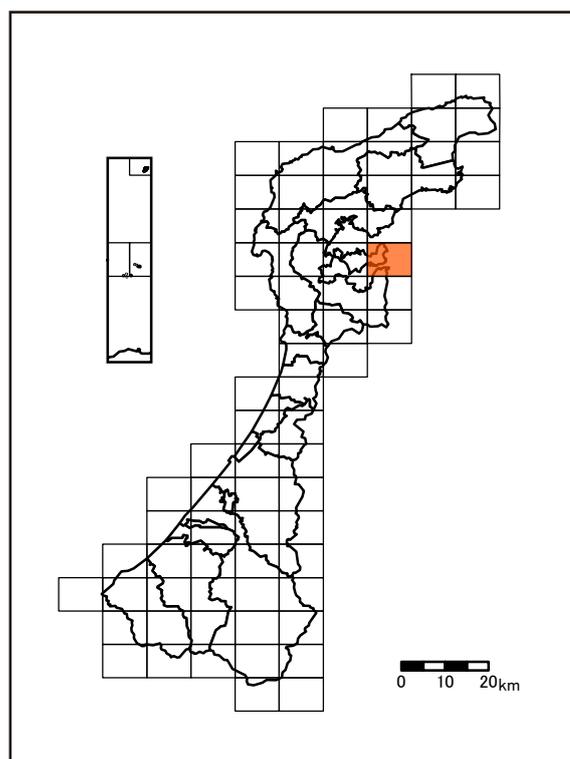
海岸の岩場。

危険要因

海岸開発、産地局限。



白井伸和・2008年5月25日・能登



県内の分布